

神奈川大学附属高等学校オーストラリア海外交流プログラムに  
おけるマッケンジー湖での2名の生徒の死亡事故について

神奈川大学附属高等学校が現在オーストラリアで実施中の海外交流プログラムにおいて、3月29日（金）午後神奈川大学附属高等学校の1年生男子2名が行方不明となり、30日（土）現地時間8時47分（日本時間7時47分）に現地より2名と思われる遺体が発見され、本校の生徒であることが確認されました。経緯は、以下のとおりです。

2019年3月29日（金）日本時間16:30頃、現地よりオーストラリアのフレイザー島にあるマッケンジー湖において、参加生徒男子2名（高校1年生）の所在が不明である旨、電話連絡がありました。

オーストラリア海外交流プログラムの参加者は、高校2年生の女子2名、高校1年生の男子7名、女子6名の合計15名と引率教員2名・添乗員1名の一行で、3月24日（日）に成田を出発し、31日（日）に成田に戻る日程でした。一行は、3月25日（月）にブリスベンに到着し、28日（木）フレイザー島へ渡り、29日（金）は同島で終日エコツアーを行う予定となっていました。当日は、引率教員、現地レンジャー、添乗員とともにバスでホテルを出発し、マッケンジー湖の駐車場に現地時間14:40頃（日本時間13:40頃）到着しました。そこから150m先のビーチに徒歩で移動し、写真を撮ったり泳いだりしていたところ、現地時間14:50頃（日本時間13:50頃）高校1年生の男子生徒2名の所在が分からないことに周囲が気づき、レンジャーと共に捜索しましたが見つからず、警察に通報しました。警察が中心となり、レンジャー、ホテルスタッフも加わり捜索しましたが、発見することができず、暗くなり捜索が困難になった為当日の捜索が打ちきれられました。その後、現地からの連絡があり、30日（土）現地時間6:30（日本時間5:30）から大規模な捜索隊を編成し、捜索にあたることでした。本校では現地領事館、警察等のご協力を得て緊急対応をして参りました。

3月30日（土）現地時間8:47（日本時間7:47）、現地警察から2名の遺体が発見されたとの連絡があり、その後行方不明であった本校男子生徒であることが確認されました。

3月30日（土）本校から副校長含め4名の教員、生徒のご家族の皆様が現地に向かっております。

海外交流プログラムにおいて、このような事故が起こったこと、大変遺憾に存じます。ご家族、関係の皆様にご心配とご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。今後本プログラムを見直し、再発防止を徹底する所存です。